

第10回 『日常の様子は電話やちょっと会っただけではわかりません』の巻き

この物語は、日南町でひとり暮らしをしているヨシ子さんのお話です。長女の百合子さんは、認知症のヨシ子さんの様子をみに定期的に帰省しています。

ある日娘の百合子さんは、ヨシ子さんの状態を心配し、県外で生活している兄に相談しました。

登場人物紹介



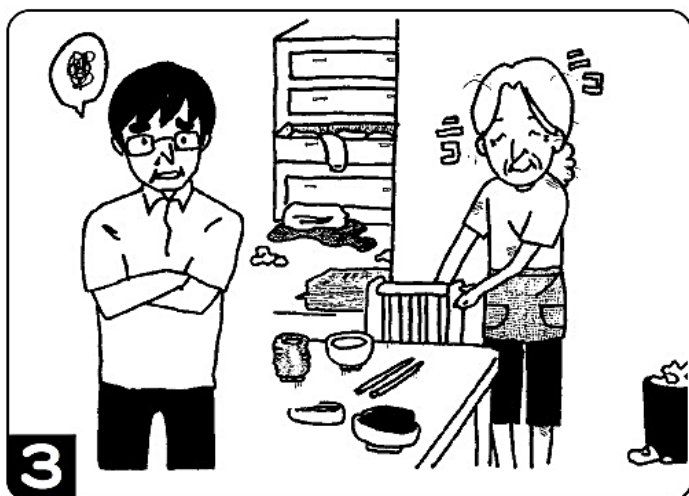
ヨシ子さん
認知症を患っている



百合子さん
ヨシ子さんの長女



一郎さん
ヨシ子さんの長男
百合子さんの兄



【解説】

アルツハイマー型認知症の人は、困ったことがあっても、相手と話を合わせ取り繕う傾向があります。会って見ないとわからないことがあります。たとえ家族でも普段一緒にいなければわからないことがあります。2～3日一緒に生活してみると、本人の生活の困難さや近所の人に助けてもらっている様子が見えてくるかも知れません。